

アクティビティインストラクター資格認定セミナー in 仙台

【日程】 2015年8月22日(土)
【時間】 10:00~16:15 (9:30より受付開始)
【受講料】 8,300円
 (テキスト「高齢者の楽々アクティビティ・ケアの進め方」付き)

【定員】 60名
【会場】 東北保健医療専門学校 (宮城県仙台市青葉区花京院1-3-1)
【対象者】 介護福祉士、作業療法士、理学療法士、看護師、保育士、管理栄養士、ホームヘルパー、社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネジャー、生活相談員、施設管理者、学生、ボランティア、家族介護など、対象者のQOL向上を目指す方。

※日本作業療法士協会 SIG 認定「基礎ポイント:1ポイント」



公共の交通機関でお越しくださいますようお願い致します
 JR仙台駅より 徒歩5分/地下鉄仙台駅より 徒歩6分

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	講義・交流学习	昼休み	実技・実践報告	認定式

初級

アクティビティ・ケアで 利用者のQOL向上を目指す生活支援

QOL向上のための生活支援

- ・自己実現のための6大ケアとは
- ・「心の栄養補給」を促す支援とは
- ・認知症ケアに役立つ事例を学ぶ

多職種連携とコミュニケーション

- ・利用者のニーズを知るのに必要なこと
- ・「心を動かす」アクティビティとは
- ・「遊び」を通じたコミュニケーション実践

資格取得後も継続学習

- ・全国5か所でフォーラムを開催
- ・スタディツアーの開催
- ・ゼミナール・勉強会の開催

講義内容

【講義】利用者の文化的な暮らしを支える視点を学ぶ

アクティビティ・ケアの基礎理論

高齢者の心を豊かにし、QOL向上を目指す「アクティビティ・ケア」とは何かを学ぶ。

全国・海外施設での アクティビティ・ケアの実践

全国や海外での施設の事例を通し「アクティビティ・ケア」の実践方法を学ぶ。



【実践】現場で役立つアクティビティ・ケア実践

アクティビティ・ツールの 制作・実践

身近な素材で要介護者も楽しめるアクティビティ・ツールを制作、活用する。

アクティビティ・ケア事例報告

現場での実践報告から、利用者の生活歴に寄り添い、達成可能なニーズを引き出し、生きがいを見出す生活支援について学ぶ。



【交流】利用者のニーズを引き出すコミュニケーション

「心と身体を動かす！」 コミュニケーション体験

アクティビティ・トイが、いかに機能訓練やコミュニケーションを活性化するか体験する。

多職種連携のための コミュニケーション理論と実践

誰もが業務の中で実践できるコミュニケーションスキルを磨くポイントを学ぶ。



講師紹介

高橋克佳 (たかはし かつよし)
 認知症ケア研究所・デイサービスセンターお多福 統括管理者。
 お多福キッズガーデン 園長。
 日本認知症ケア学会 代議員。



「デイサービスセンターお多福」では、古民家を思わせる作りを利用し、日常生活に沿った無理のない身体動作による機能訓練を研究し、自宅での生活を改善できる援助を行なう。
 また、併設の保育園に通う子どもたちとデイサービス利用者との交流を日常のケアに取り入れるなど、地域に根ざした世代間交流にも力を入れている。

認知症高齢者に関する知識普及のための研修会、講演、執筆活動などでも活躍中。

実践報告者紹介

鷲田孝保 (小山記念病院 リハビリテーション科 顧問)
 利用者のADLの維持、向上に役立つアクティビティ・トイ活用法の実践例

巴 雅人 (有限会社車座 代表取締役社長)
 福祉用具を活用した新しいアクティビティを求めて

受講生の声

◆講習を通して「自分も楽しむことの大切さ」を学び、「誰かの笑顔を見ることが好き、嬉しい」という自分に気づき、ケアの基本に立ち返ることができました。

宮城県 有料老人ホーム勤務 介護福祉士 女性

◆リハ職に求められることと、作業療法士の業務にギャップを感じていたが、アクティビティを用いることの効果や必要性が理解できたので、自信を持って活用したいです。

宮城県 介護老人保健施設勤務 作業療法士 男性

東北 アクティビティ・ケア フォーラム in 盛岡

【日程】 2015年11月21日(土)
【時間】 10:00~16:30 (9:30より受付開始)
【定員】 100名
【会場】 ふれあいランド岩手 (岩手県盛岡市8地割1番3号)
【参加費】 高齢者アクティビティ開発センター会員 } 1,500円
 アクティビティインストラクター }
 アクティビティディレクター }
 おもちゃコンサルタント }
 一般: 2,000円
 学生: 1,000円

※日本認知症ケア学会「認知症ケア専門士:2単位」
 日本作業療法士協会SIG認定「基礎ポイント:1ポイント」



【プログラム】

10:00 **基調提案 多職種連携のアクティビティ・ケアで利用者の暮らしを支える**
 多田千尋 (高齢者アクティビティ開発センター 代表)

10:10 **実践報告1 利用者のQOL向上に役立つアクティビティ・トイ活用法**
 鷲田孝保 (小山記念病院 リハビリテーション科 顧問/高齢者アクティビティ開発センター 顧問)
 “させられる”から“自分からする”へ、“出来ない”から“出来る”へ、やる気を起こすためには、打てば響く対応が大切です。利用者のQOLの向上に役立つ具体例を挙げて説明します。

11:15 **実践報告2 多職種連携によるアクティビティ・ケア実践**
 中田裕裕 (介護老人保健施設 平成の家 レクトレーナー・介護福祉士・保育士/アクティビティインストラクター)
 下天摩玲奈 (介護老人保健施設 平成の家 レクトレーナー・音楽療法士)
 バリエーション豊かなアクティビティ活動を多職種が連携し、各々の専門的視点で展開することで、エビデンスに基づいたより充実した活動を実現。楽しみながら、自然とリハビリに繋がりと、笑顔の輪が広がる仕組みをご紹介します。

12:15 昼食休憩

13:15 **分科会1 (A・Bどちらかを選択し、申込書にご記入ください)**

**A: QOL向上を目指す
アクティビティ・トイ実践術**
 アクティビティ実践
 鷲田孝保 (小山記念病院 リハビリテーション科 顧問)

アクティビティ・トイで実際に遊ぶ体験を通し、その楽しさを自分の五感で感じ取り、どのような視点で援助したら良いかについて考えます。



**B: 生活の行為向上とは?
被災地の子どもたちの支援から得た経験**
 トークセッション
 吉山周作 (夢のみずうみ村 子ども夢ハウスおおつち 作業療法士)

被災地で地域と子どもたちへの支援を行ってきた経験から、真の生活行為向上とは何か? 社会参加への意味を語り合います。



14:30 **分科会2 (C・Dどちらかを選択し、申込書にご記入ください)**

**C: 描画を楽しむ!
身近な素材で楽しむアート実践**
 アクティビティ実践
 ささきさちこ (笑てがみ倶楽部 主宰/アクティビティディレクター)

身近な素材をポスターカラーの赤と緑の2色で描きます。高齢者にも親しみやすく、達成感が得られると評判のアクティビティを体験します。



**D: 食を楽しむ!
器から行為としての食事を考える**
 トークセッション
 櫻井真弓 (デイサービス シャンジェ 作業療法士)
 大沢和義 (てまるプロジェクト 代表)

美しく使い易さを考慮した食器を活用したデイサービスでの実践から、食事を器から考えます。



15:30 全体討論
 15:45 閉会挨拶 ふれあいランド岩手
 16:25

【共催】社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 【後援】一般社団法人岩手県社会福祉士会 一般社団法人岩手県介護福祉士会 一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人岩手県作業療法士会 一般社団法人日本認知症ケア学会